

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	4月	20日	(記入者) 西野稔	
取材参加者	石井	西田	西野	本井	宮本
取材対象先	奈良市：海龍王寺の本堂・表門				

所在地	奈良市法華寺町897				
所有者(取材 対応者)名	海龍王寺 石川重元住職 (個人情報守秘)		連絡先：0742-33-5765		
	PCアドレス				

取材申込	申込先・行政名など：海龍王寺 住職				
------	-------------------	--	--	--	--

市町村 指定文化財	彫刻	軀			
	建造物	2棟	海龍王寺本堂・表門 1988(昭和63)年3月3日指定		

文化財 指定理由	本堂は深い軒の出と勾配の緩い屋根、それに堂内の柱配置が整然としていることなど、奈良時代の仏堂の様式と似ている点が多くみられる。建立年代は寛文年間(1665年頃)とも伝えられ、江戸時代の建物でありながら古風な造りである。表門は、円形の本柱の前後に立つ合計4本の控え柱の角の欠き取り部分(面)が大きく、屋根の垂木(たるき)の先が反り増ししているなど、中世建築の様式を今に伝えていて貴重。				
-------------	---	--	--	--	--

文化財の状況

防火対策	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
	彫刻に関しては、重要文化財「十一面観音菩薩立像」の厨子の横に安置されており、同様の対策がなされている。 本堂は中に重文が安置されているので対策は十分なされている。表門は道路沿いで車が多いが、消火器を設定済み。	重文同等の対応がなされている。

獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	彫刻に関しては同上。 本堂は重文を守るための対策がなされている。表門は道路に面し誰でもが触れる状況。	彫刻は重文同等の対応がなされていると考えられるが、表門に関しては対策は困難と考えられる。

保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	重文を持っているため、そのための文化財を守るための対策がなされているので、保存～継承のレベルは常に同等と考えられる。	
--------------------------------	--	--

調査(取材)を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)
重文同等といっても良い状況なので、課題などは感じられない。

市町村指定文化財取材票<<裏>>①

取材日	2023年	4月	20日	(記入者) 西野稔	
取材参加者	石井	西田	西野	本井	宮本
取材対象先	奈良市：海龍王寺の本堂・表門				

<<写真撮影許可済>>

文化財指定名 海龍王寺本堂

海龍王寺本堂



2023/04/20 14:09

本堂 (角度を変えて)

外した部材も保管



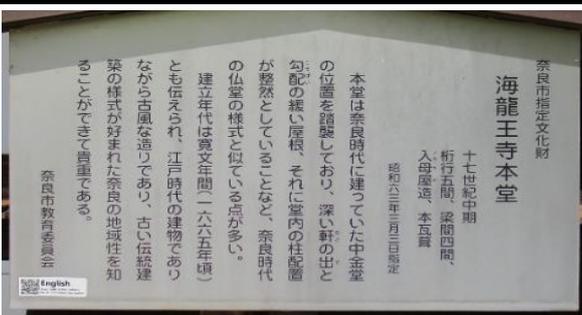
2023/04/20 14:32



2023/04/20 14:33

文化財の由緒・説明板の有無など

所有社寺や地域（廃寺など）の歴史や特徴等



本堂内部に、重要文化財をもつため、文化財を守るための必要な対策はなされている。本堂前に向拝（こうはい）が灯籠までせり出していた。これは後付けのため、1983(昭和58)年の修理の際に奈良時代の造りに戻すということで撤去した。その部材が本堂西側に置かれている（上記写真の通り）。

市町村指定文化財取材票《裏》②

取材日	2023年	4月	20日	(記入者) 西野稔	
取材参加者	石井	西田	西野	本井	宮本
取材対象先	奈良市：海龍王寺の本堂・表門				

《写真撮影許可済》

文化財指定名 海龍王寺表門

文化財 (正面写真)	文化財 (後ろ側から)	
		
文化財 (安置状態の全体写真)	門の左右に消火器	反り増しのある垂木
		
文化財の由緒・説明板の有無など	所有社寺や地域 (廃寺など) の歴史や特徴等	
	<p>表門の前は道路で車の通行が激しい。このため今後の劣化は想定される。壁については元々白壁であったが表面が取れて壁の地が出ている。</p>	